

# 旭公民館だより

発行 令和8年4月  
旭公民館  
館長 伊吹 公雄  
電話 45-5903  
FAX 45-5903

古着でつなぐ  
いのちのボタン  
たんぽぽクラブ×旭公民館



汚れてないかなーきちんと確認して袋詰めします

3月22日(日)、子育て支援サークルたんぽぽクラブと旭公民館が協力し、「古着でワクチン」の取り組みとして、回収した古着の袋詰め作業を行いました。

当日は、子どもたちを含む約30名が参加し、「これも入るかな?」「こっちはもういっぱい!」と声をかけ合いながら、にぎやかで和やかな雰囲気の中、作業が進められました。

作業の後は、みんな自分たちで握ったおにぎりをほおぼりながら、今日のふりかえり。



こんなにたくさん集まりました。ご協力ありがとうございました

「楽しかったね」「またやりたいね」といった声があがる中、たんぽぽクラブの橘高理恵代表から、こんなお話がありました。

「今回の8袋分の古着で、80人分のポリオワクチンが届けられます。世界のどこかで、子どもたちの命が救われるんですよ」

その言葉に、子どもたちも神妙な面持ちで耳を傾けていました。

身近な活動が、世界の誰かの命を守る力になる。

そんな実感を、子どもたちと一緒に分かち合えた一日となりました。

旭公民館は、これからも地域のサークルと手を取り合い、人と人、地域と世界をつなぐ活動を応援していきます。



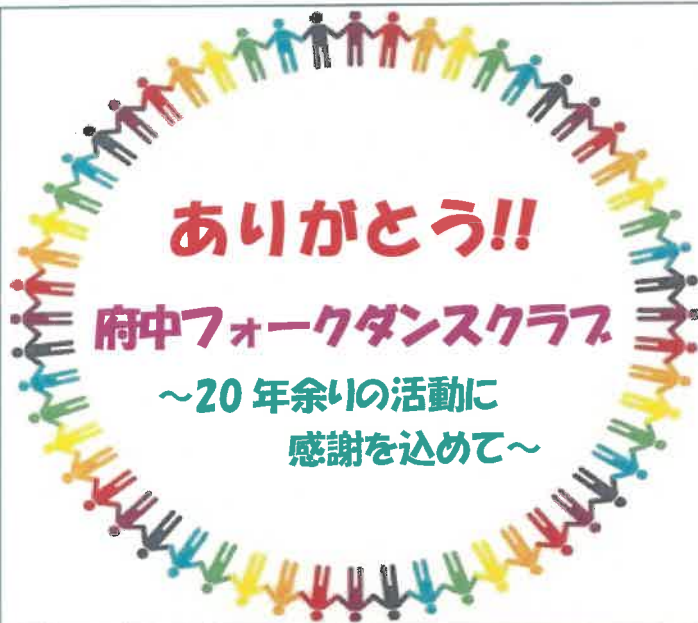
見てみて、袋に入れるよ



この袋にどれくらい入るかな



最後はみんなでおにぎりをいただきました (裏面へ)



**ありがとう!!**

**府中フォークダンスクラブ**

**~20年余りの活動に  
感謝を込めて~**



福塩線音頭も取り入れ輪になって踊っています



最終日もみんな元気よく楽しんでいました

旭公民館サークルとして活動してきた府中フォークダンスクラブ（近藤邦敏代表）が、今年3月末をもって約20年の活動に幕を下ろしました。

ここ数年は新しい仲間が増えない中でも、10名規模で着実に活動を継続されてきましたが、指導者・三上佐賀江先生の体調が思わしくないこともあり、一区切りをつけることになりました。

最終活動日となった3月25日（水）には、いつもどおりの練習を行ったあと、お別れ会が開かれました。

これまでの活動を振り返り、旭ふれあい祭りの演芸発表会などの思い出話に花が咲く、あたたかな時間となりました。

三上先生は「みなさんのおかげで続けてこれた。余力あるうちに一区切りをつけたい」と、感謝の気持ちを語られました。

また、ある会員の方は「体を動かしたり、みんなで集まって話をするのが健康にとっても良かった」と、クラブでの時間を振り返っておられました。

20年という長い年月を刻んで、地域に笑顔と健康、そしてつながりを届けてくださった府中フォークダンスクラブのみなさん。

その歩みは、旭公民館の歴史の中でも大切な一章です。長年にわたるご尽力に、心より感謝申し上げます。

本当におつかれさまでした。

そして、ありがとうございました。

**明るくなって、もっと安心・もっと快適に！**

**中須テニスコート・武道場の照明 LED にリニューアル**

旭公民館の管内にある中須テニスコートの屋外水銀灯と隣接する武道場の屋内蛍光灯が、このたびLED照明に切り替わりました。

LED照明は、従来の水銀灯に比べて省エネルギーで長寿命。環境にやさしいだけでなく、点灯も早く、夜間の明るさが格段に向上しました。

中之町町内会の役員さんからは、「夏祭りの会場として利用するテニスコート駐車場も明るくなるから安心!」「武道場内の集会所も、明るくなって使いやすくなった!」と、うれしい声が届いています。地域のみなさんと一緒に、安心して集える場所を育てていきたいと思えます。

なお、旭公民館の屋内照明についても、今後LEDへの切り替えが予定されています。時期は未定ですが、より快適で明るい公民館になる日が待ち遠しいですね。